



## 希望を胸に旅立ちました ～令和3年度卒業式～

新型コロナウイルス感染症が舟橋小学校で拡がり、臨時休校の措置を取ったため、延期しておりました卒業式ですが、3月29日(火)に無事開催することができました。何よりも嬉しかったことは、**卒業生全員が揃ったことです**。卒業式に出席できるよう、保護者の皆様がお子さんの体調を気遣ってくださったお陰ではないかと思っております。

舟橋村長 古越邦男様、舟橋村議会議長 森 弘秋様、舟橋村教育委員会教育長 早川誠一様には、ご多用のなか、そして、卒業式を延期したにもかかわらず、ご出席いただきありがとうございます。

保護者の皆様、本当にご心配ご迷惑をおかけしました。お仕事の都合がつかなかったり、まだ体調が回復されなかったりと、参加することができなかつた方もおられるとは思いますが、それでもたくさんの皆様に参加いただき、ありがとうございました。

全員が揃ったの練習もままならず、そして、久しぶりの登校ということもあって、卒業生は不安も大きかったと思います。でも、子供たちの式に臨む態度、表情は素晴らしかったです。引き締まった表情で卒業証書を受け取る姿、「旅立ちの言葉」で心を込めて声に出したり歌を歌ったりしている姿などに、一人一人の成長を感じました。

在校生は式に参加することはできませんでしたが、卒業をお祝いしたい、卒業生に感謝の気持ちを伝えたいという思いを「在校生からのメッセージ」として映像にまとめ、卒業生に見てもらいました。卒業生には在校生の思いが伝わったでしょうか。

卒業生はこれから新たな一歩を踏み出します。人への優しさ、思いやりの心を大切にしながら、自分のよさを発揮し、そして、いろいろなことに挑戦していったほしいと思います。舟橋小学校を旅立った卒業生一人一人を、教職員一同、これからも応援していきます。

保護者の皆様には、これまでの本校の教育活動へのご支援とご協力に心より感謝申し上げます。これから中学校生活がスタートし、新たな環境で、悩むことも多くなるでしょうが、お子様の悩みを受け止め、共に悩み、目と心をつないで、あたたかく支えていただければと思います。





## 自分の一歩

宮澤 章二



いまわたしの踏みしめる一歩は  
だれか他の人の一歩ではない  
わたしの足が地上に刻む一歩は  
いつでもわたし自身の一歩なのだ

他の人より一歩先を歩くからといって  
他の人より優れているとは限らない  
他の人より一歩後を歩くからといって  
他の人より劣っているとは限らない

自分の目標を定めて歩き出したのだから  
自分の一歩をしっかりと信じて進む  
その決意が 最後まで歩く力を生む

出発点には〈へ人生〉など まだない  
到達点にこそ わが〈へ人生〉はあるのだ  
歩きつづけ生きぬいた尊い証明として